

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 22,200~23,300円 TOPIX 1,530~1,630

\* 期待材料 IoT、AI、RPA 活用による生産性改善 5G時代の到来 新型コロナ対策の進展

\* 不安材料 新型コロナの感染拡大 地政学的リスク スタグフレーション 信用不安の高まり

新型コロナの感染拡大は警戒されるものの、金融・財政政策の充実に加えて、ワクチン開発への期待感もあり、先週の米 S&P500、日経平均株価はともに約1ヵ月ぶりの水準へ上昇した。米国で新型コロナの感染が拡大しているため、フロリダ州、テキサス州などで6月下旬から経済活動再開の一時停止が発表され、カリフォルニア州では7月13日にレストランの店内飲食や映画館など幅広い領域で活動停止が命じられた。全米50州のうち22州で経済活動の停止措置が導入されており、感染拡大抑制に向けた対策が実施され始めている。人の往来を制限すれば、概ね2週間から1ヵ月程度で感染拡大ペースが鈍化するものと思われる。景気支援策の充実により楽観に傾く米国株式市場では、感染拡大ペースの鈍化が見られれば、米 S&P500 は航空関連や金融、機械、資源など景気敏感株がけん引し、2月の最高値にトライする展開になることが想定される。日本株でも景気敏感株のFAやロボット関連に注目したい。7月10日に3-5月期決算を発表した安川電機は、中国で5Gに絡んだ設備投資が盛り上がっており、営業利益は会社計画を上回って着地。経済活動の正常化や経済対策により製造業の設備投資意欲が回復しつつあり、6月の中国制御機器工場の稼働率は200%強(会社発表基準)と好調を維持している。オムロンやハーモニックドライブ、三菱電機、富士電機なども中国ビジネスは改善しているものと思われ、7月下旬の決算発表の結果が注目される。

今週の予定では、日本時間23日早朝に発表予定の米テスラの決算が注目される。7月2日にテスラが4-6月の納車台数を発表したことを契機に、4-6月期の調整後EPS(ブルームバーグ集計のアナリスト予想値)が-1.4ドルから-0.4ドル程度へ上方修正され、これにつれて株価も1,000ドルから1,500ドル程度へ急騰する展開となった。業績拡大への期待が高まり株価も急騰しているため、事前予想を上回る決算が出ない場合、株価はネガティブに反応し、米国で盛り上がるハイテク株人気に水を差す展開も想定され注意したい。(7月16日現在、松本 直志)

## 今週の予定

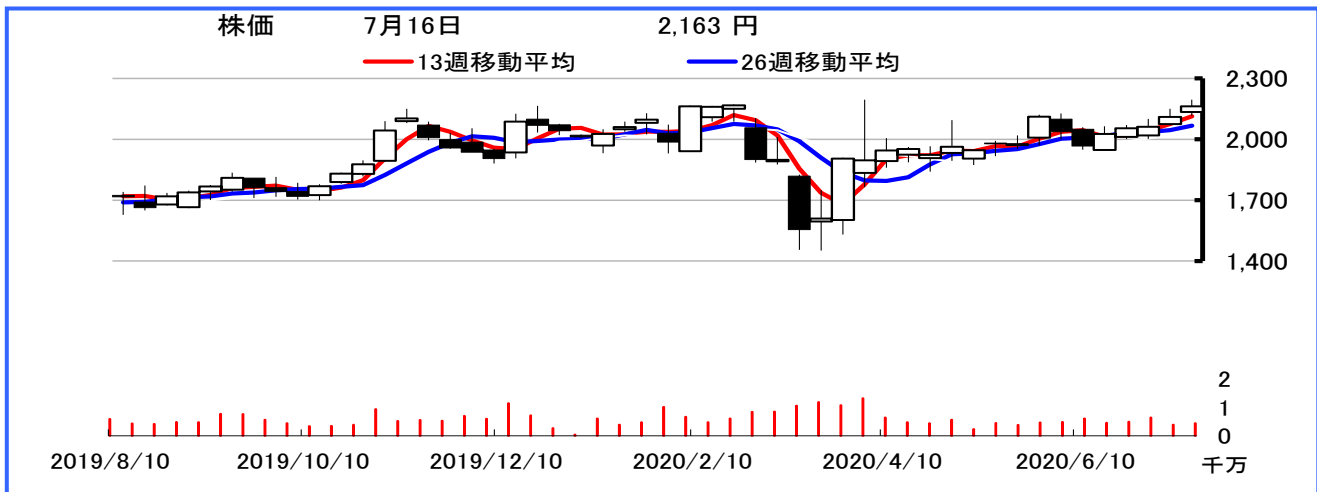
	国内	海外
7/20 (月)	6月貿易統計(8:50) 6月の金融政策決定会合議事要旨	[米]IBM2Q決算 [米]上院休会明け
21(火)	6月消費者物価指数(8:30) 日本電産(6594)1Q決算	[米]コカ・コーラ2Q決算 [米]テキサス・インスツルメンツ2Q決算
22(水)	7月製造業PMI(9:30) サイバーエージェント(4751)3Q決算	[米]6月中古住宅販売件数(23:00) [米]テスラ2Q決算
23(木)	海の日 文月ふみの日	[米]インテル2Q決算 [米]ツイッター2Q決算
24(金)	スポーツの日 セルフメディケーションの日	[欧]7月製造業PMI(17:00) [米]6月新築住宅販売件数(23:00)
25(土)	かき氷の日	[チュニジア]共和国記念日
26(日)	埼玉県富士見市長選投開票	[リベリア]独立記念日

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

### JSR (4185) 東証1部



	19年3月期 (百万円) 前年比	20年3月期 (百万円) 前年比	21年3月期(予) (百万円) 前年比	株価(7/16)	2,163 円
売上収益	495,354	471,967 -4.7%	423,000 -10.4%	業種	化学
営業利益	45,261	32,884 -27.3%	23,000 -30.1%	売買単位	100 株
税前利益	46,408	32,629 -29.7%	22,500 -31.0%	PER(予想)	31.0 倍
当期純利益	31,116	22,604 -27.4%	15,000 -33.6%	PBR(実績)	1.2 倍
EPS(円)	140.6	104.4	69.9	ROE(実績)	5.7 %
配当金(円)	60.0	60.0	60.0	配当利回り(予想)	2.8 %
				担当	多功 毅

\* 19年3月期は非継続事業に分類された事業の業績を遡及修正したため、前年比増減率を記載していない  
出所：業績に関する数値は決算短信より

祖業の合成ゴム事業から、合成樹脂、半導体・ディスプレイ材料へと事業を拡大させ、近年はM&Aを通じてバイオ医薬への積極投資を進めている。前期決算における事業構成比は(その他・調整項目を含む)、合成ゴムを中心とするエラストマーが売上高：37.9%、営業利益：-5.3%、ABS樹脂を中心とする合成樹脂が売上高：20.1%、営業利益：19.0%、半導体・ディスプレイ材料を中心とするデジタルソリューションが売上高：30.7%、営業利益：94.0%、バイオ医薬品の受託製造や創薬を展開するライフサイエンスが売上高：10.7%、営業利益：10.9%となっている。

前期決算はライフサイエンスの順調な収益拡大が継続し、また、デジタルソリューションは半導体材料中心に堅調に推移したが、タイヤ需要が低調に推移したことに加えて市況悪化の影響を受けたエラストマー、自動車向けに落ち込んだ合成樹脂の収益悪化要因が大きく、前年同期比4.7%減収、27.3%営業減益での着地。21年3月期は、新型コロナの影響でエラストマー、合成樹脂を中心に特に上期に需要が大きく落ち込むことを想定し、10.4%減収、30.1%営業減益を計画。

今期は自動車業界の落ち込みを受けて低調な業績推移となることが想定されるが、中長期的には半導体材料及び、利益貢献の始まったライフサイエンスを中心とした成長が可能と思われ注目している。6月22日に今後の安定供給を理由として、合成ゴム・エマルジョンの値上げを発表しており、収益改善に寄与することが想定される。資本効率改善のために、もう一段の大幅値上げが抜本的な構造改革を打ち出すことに期待している。

## 決算発表より

銘柄 (コード) 市場 株価(7/16)	コメント
<b>ウエルシア HD</b> (3141) 東証1部 8,950円	新型コロナの感染拡大による影響は、インバウンド需要の減少、在宅勤務拡大に伴う化粧品需要の落ち込み、病院受診回数抑制による処方箋枚数の減少などにつながったが、家庭用雑貨や食品を中心とした需要拡大効果の方が上回っている。1Qについては薬価改定の影響もあったが、既存店売上高が計画を上回ったことによる増収効果、3密回避のためのチラシ販促自粛、前期から注力する適正人員配置の徹底によるコスト抑制効果が効き、計画比上振れ着地となる前年同期比10.5%増収、29.4%営業増益で着地。通期計画は、7.7%増収、2.6%営業増益計画を据え置き。(多功 毅)
<b>SHIFT</b> (3697) 東証1部 11,170円	20年8月期3Q累計決算は前年同期比51.8%増収、92.3%営業増益。上期に続いて金融、保険、通信、ERPなど、エンタープライズ領域で大型顧客の獲得が進展。ECや物流、自動運転、エンタメ、セキュリティなどでシステムテストの需要が拡大した。採用は引き続き積極的に推進しており、主要SIerやプライムベンダー、コンサルなどから優秀な人材の応募が増加。M&A案件も多数入ってきており、売上1,000億円に向けて、業績拡大が続くものと思われる。(松本 直志)
<b>クリーク・アンド・リバー社</b> (4763) 東証1部 1,320円	21年2月期1Q決算は前年同期比15.2%増収、33.2%営業増益。売上、利益ともに四半期で過去最高を更新。TV、ゲーム、ウェブ製作向け派遣・請負事業が順調に推移したことや、韓国のTV局向け派遣事業を再連結したこと、販売管理費と投資を抑制したことにより大幅増収増益を達成。新規獲得に遅れが出るなど、新型コロナの影響を一部で受けたものの、TV、ゲーム、WEB製作スタッフは在宅ワークで生産性が上がり、YouTube、電子書籍、ゲーム分野でクリエイティブ人材の需要が伸びている。(松本 直志)
<b>OSG</b> (6136) 東証1部 1,714円	2Q累計決算は新型コロナ発生以降に各国で進められたロックダウンの影響に加えて、ロックダウン解除後も当社の主要顧客である自動車業界の生産回復が遅れていることで主力のタップ、エンドミル、ドリルなどの精密工具の需要が大幅に減少し、前年同期比15.8%減収、48.2%営業減益での着地。新型コロナの収束について不確定な要素が多いことを理由に通期業績予想については非開示としている。なお、3Qについては、在庫削減のために稼働調整を行う予定。(多功 毅)
<b>安川電機</b> (6506) 東証1部 3,955円	21年2月期1Q決算は前年同期比15.5%減収、21.6%営業減益。中国で製造業の活動が正常化し、5Gなどニューインフラ関連投資が活発化したことや韓国などで半導体、電子部品向け投資も堅調に推移したことで、営業利益は会社計画を超過達成。中国では、5G端末や基地局、データセンタへの投資が増え、レーザー加工機、工作機など向けに制御機器の需要が増加。景気対策により製造業の投資意欲が回復しており、2Qも会社計画の超過達成が期待される。(松本 直志)
<b>マルカ</b> (7594) 東証1部 1,787円	産業機械事業は、射出成型機が人工呼吸器製造用に需要が拡大したものの、新型コロナ感染拡大以降の営業活動制限、国内外での自動車業界を中心とした投資の先送りにより低迷。建設機械は基礎工事用機械を中心に落ち込んでいる。2Q累計決算は前年同期比18.3%減収、27.3%営業減益での着地。低調であった2Q累計決算及び、新型コロナの影響が今年度を通じて発生することを見込み、通期業績予想を22.7%減収、40.5%営業減益へと下方修正。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室